

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 66》2018年8月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【大分市／別府市】



(大分市)
府内戦紙



(大分市)
田ノ浦ビーチ



(別府市)
地獄蒸し



(別府市)
竹瓦温泉

イギリス、フランスで大分県のPRを行いました

6月29日から7月4日まで、来年のラグビーワールドカップで大分県でプレーする、また決勝トーナメントで来る可能性のあるイギリスのウェールズ、イングランド、そしてフランスを訪問し、大分県のPRを行ってきました。

ウェールズでは、ウェールズ政府のマーク・ドレイクフォード財務大臣やラグビー協会を訪問し、大分県の受入状況の説明とともに、予選プールで来県するウェールズ代表を歓迎する旨をお伝えしました。また、国立博物館やカーディフ・メトロポリタン大学も訪問し、ラグビーをきっかけとしたウェールズとの交流の可能性についても意見交換を行いました。

イングランドでは、ラグビーワールドカップ統括責任者のアラン・ギルピン氏やイングランドラグビー協会を訪問し今後の交流について意見交換を行うとともに、開催に向けたアドバイスもいただきました。

フランスでは、九州各県が合同で観光セミナーやレセプション等のPR活動を行いました。パリの老舗レストラン・ルドワイヤンでのレセプションには100名を超える招待客が訪れ、ラグビーワールドカップのブースのほか九州各県の料理やお酒、お菓子の試食のほか工芸品の展示もあり、盛大にPRすることができました。

来年のラグビーワールドカップ開催に向けて、これからますますPRを進めていきますので、どうぞご注目ください！



ウェールズ政府 ドレイクフォード財務大臣と



ジャパンエキスポ 九州ブースの様子

マレーシア代表の事前キャンプ覚書締結式が行われました

7月2日に、県庁にて、マレーシア国立スポーツ研究所と大分県、中津市、公益財団法人日本オリンピック委員会の4者により、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会におけるマレーシア代表チームの事前キャンプに関する覚書の締結式が行われました。

大分県と中津市は、日本オリンピック委員会とともに、事前キャンプ誘致にむけてマレーシア国立スポーツ研究所と協議を進めてきました。その結果、マレーシアオリンピック・パラリンピック代表チームが、中津市で東京オリンピック・パラリンピック大会の事前キャンプを実施することで合意しました。2020年東京オリンピック大会の事前キャンプの海外代表チームの決定は、県内では初めてになります。

締結式に知事代理で出席した二日市副知事は今回の締結により、「東京2020オリンピック・パラリンピック大会がさらに身近に感じられるようになりました。大分県民にとって大変ありがたいお話です。県・中津市一体となって支援していきたい。これを機に両国の交流ますます盛んになることを期待しています。」と述べました。



【芸術文化スポーツ振興課】

APU校友会タイチャプターの総会に参加しました

7月14日に、タイ・バンコクにて、立命館アジア太平洋大学校友会(同窓会組織)のタイチャプターの総会が開催されました。県からも参加させていただき、タイにいる留学生OBの皆様、および他の地域から参加されていたチャプター代表の方々に大分県の海外ネットワーク強化へのご協力をお願いをしてきました。

タイからは毎年多くの留学生が大分県に来て学んでいるため、タイチャプターは非常に大きな組織になっています。今回の総会にも総勢200名ほどの参加があり、盛大に開催されました。

タイだけでなく、世界各地にいる留学生OBや大分県人会の皆様と一緒に、海外における大分県の知名度アップ、また県内産業のより一層の発展に向けて、交流を強化していきます。





新たに3名がめじろん海外特派員に任命されました！

国際交流員のシェリダンさん、外国語指導助手(ALT)のシャンテルさん、そして現在英国・ウェールズ在住のデイヴィッドさんがめじろん海外特派員に任命されました！



シェリダン・ミキシクさん
(アメリカ、国際交流員)

初めて大分に来たときからもう3年が経ったとは信じられません。今月アメリカに帰りますが、大分のできた思い出を全部持って帰ります。この3年間で様々なところが好きになりましたが、中でも別府湾の景色、姫島、宇佐神宮、日田の焼きそば、琉球丼、久住のきれいな牛が特に大好きでした。大分にいる間に、家族や友達に大分を紹介して県内に案内できました。皆の意見では、大分はとて素晴らしい印象を残しました。これから、めじろん海外特派員、また大分の大ファンとして、大分の魅力を世界中の人々に伝え続けたいと思います。



シャンテル・ディッカーソンさん
(アメリカ、外国語指導助手)

こんにちは！今回は素晴らしい機会をありがとうございます。2年前に日本に来た時は、日本語や日本文化について何も知りませんでした。今は、大分のことを第二のふるさとだと思っていますし、大分で知り合った友人たちは家族のような存在です。これからはめじろん海外特派員として、一生懸命頑張ります。私の二つのふるさとを繋げるのがとても楽しみです！



デイヴィッド・エヴァンズさん
(英国・ウェールズ、元外国語指導助手)



こんにちは！私は2002年から10年以上大分に住み、豊後高田市や中津市でALTとして働いたり、立命館アジア太平洋大学で国際学生募集の仕事をしたりしました。現在はカーディフ大学で同じ学生募集の仕事をしています。大分ではNanbanjinというバンドを組んでおり、その活動でも忙しくしていました。ラグビーワールドカップの時には、友人を大分に連れてこようと思っています。ウェールズ代表の試合はもちろんですが、友人たちは温泉や食(特に別府のラーメンや、とり天、関さば等)、景観、お寺、野生のサルや火山など、ウェールズにはないものを見たり、体験することをとても楽しみにしています。バンドも別府か大分で再会し、演奏する予定です。ぜひ観に来てください！

湖北省から研修員が来県しました

今年も湖北省から研修員が来県しました！7月から11月中旬までの予定で、県庁や大分市役所、ツーリズムおおいた等で研修を行います。

初めまして！私は中国湖北省から参りました研修員の陳娟と申します。私は中国江西省の西部にある萍郷市の出身です。今の勤め先は湖北省の省都武漢市に隣接している孝感市です。今回は研修員として大分県に配属され、うれしく光榮に思います。研修期間中、大分県の観光分野における先進的な経験とやり方及びサービススタイルと観光地の環境保護と科学知識の宣伝を勉強して、湖北の観光事業の発展に微力を尽くしたいと思います。そして、孝感市と大分県との友好交流のために架け橋としての役割を果たしたいと思っております。



陳娟(ちん けん)さん

海外大分県人会交流掲示板



【韓国大分県人会の江藤様より、県人会開催のご報告をいただきました！】

7月4日に今年2回目の韓国大分県人会をソウル市内の和食店で開催いたしました。

私の居住地域は韓国の地方のため、普段中々ソウルまで足を運ぶ事が少ないのですが、県人会の開催案内を頂くとその日に合わせて出張を計画するなど、できる限り参加をしています。また参加者の方が日本のお酒を持ち寄って頂けたりもするので、楽しい雰囲気も重なりつい飲み過ぎてしまっていますが、2～3ヶ月毎の開催をいつも楽しみにしています。

【国際政策課の職員がタイ大分県人会と交流会を行いました！】

7月13日に、タイ大分県人会の山村会長と平川様と交流会を行いました。タイ大分県人会の状況や、ふるさとに対する思い等について、貴重なお話を伺うことができました。他の県人会の状況も知りたいとのことでしたので、今後も情報共有をしていけたらと思っています！



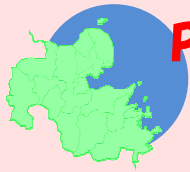
ウェブラジオ「大分で会いましょう。」を開設

「せっかくだから 大切な話は、大分で。」。大分県では、ウェブラジオ「大分で会いましょう。」(<http://oita.love>)を開設、「おんせん県おおいた」のリアルな魅力をWEB上で配信しています。漫画家、音楽家、フードエッセイストなど各分野で影響力を持つ多彩なゲスト二人が大分を訪れ、「食」や「音楽」、「建築」などをテーマに、県内在住のキーパーソンと語り合う様子をライブ放送するほか、翌日には大分を旅し、外の目線で大分の魅力を深掘りする姿をSNSで発信。大分の「今」をダイナミックに感じていただけるとともに、「#大分で会いましょう」で世界中の大分ファンの皆さんが繋がり、交流を楽しんでいただけるのも魅力の一つです。

現在、公式インスタグラムではフォトコンテストも実施中。大分で「誰かと会いたい場所」、「また会いたいあの店」、「思い出のあの店」、「癒やされる風景」、など皆さまにとっての「大分で会いましょう。」を撮った素敵な写真を募集しています。プロやアマ、撮影の時期、発表の有無は問いません。優秀作品には素敵な商品もご準備しています。ご家族やご友人等、お誘いあわせの上、ぜひ、御参加ください。



【広報広聴課】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（7月）

News

【7月6日（金）～】西日本を中心とする豪雨被害が発生

西日本に甚大な被害をもたらした豪雨により、大分県内でも、負傷者が2名、住家被害は全壊から床下浸水まで含め22件の被害が発生しました。交通網の寸断による物流の混乱で県内企業の物流にも影響が出て、お中元シーズンでしたが、配送の遅れやキャンセルも発生したようです。

News

【7月14日（土）】JR久大線が全線復旧

昨年7月の豪雨災害の影響で「花月川橋梁」が濁流にのまれて流失し、一部区間で普通になっていたJR久大線が14日に全線復旧しました。14日には観光列車「ゆふいんの森」の歓迎セレモニーが日田駅で開催され、利用者たちは喜びの声をあげていました。当初復旧には3年かかるという見方もありましたが、1年余りで全線復旧が成し遂げられました。

News

【7月25日（水）】藤蔭高校が28年ぶりの大分代表に

今年は全国高校野球選手権100回目の節目の年ですが、大分大会は8日に開幕し、25日の決勝戦で日田の藤蔭高校が、柳ヶ浦高校を1対0で破り、28年ぶり2回目の夏の甲子園出場を決めました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

英国研修レポート

国際政策課の佐藤が、英国研修中に現地の様々な情報をレポートします！

7月13日～15日まで、ロンドンにて「HYPER JAPAN」が開催されました。「HYPER JAPAN」とは、ゲームやアニメ、漫画のポップカルチャーにかかるブース、観光紹介ブース、また日本食の屋台などが設営され、幅広く日本文化を堪能できる英国最大の日本イベントです。

今回、私は観光のブースで大分県のPRを行ってきました。本県の英国における認知度は高くはないですが、本県の魅力である温泉に加え「2019年ラグビーワールドカップ」開催地である事を伝えると、皆さん目の輝きが違います！！大分県のアドバンテージを現地で実際に感じる事ができ、また日本に対する英国人の関心の高さを実感した貴重な経験となりました。



【国際政策課 佐藤佳香】

From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



金 眞雅
(Kim Jina)

大分県教育委員会と韓国の忠清南道教育庁は「教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言」に基づき、日韓高校生スポーツ活動交流事業を続けています。途中で事情により3年間中止となっていたが、去年から交流が再開され、今年は韓国側が大分を訪問するので、私も3泊4日間通訳担当として参加しました。

交流校である大分工業高等学校を訪れたのは忠清南道の天安高等学校バレーボール部の選手たちです。大分工業高校のバレーボール部と2日間にわたって親善試合が行われ、白熱した試合を繰り広げました。試合が終わってからは大分銀行ドーム、県立美術館を見学したり、杉乃井ホテルの温泉に入ったりと猛暑の中、大分の色々なところを堪能してくれました。



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

8月で大分へ引っ越してから早速一年になります。この記念日と先週末に両親が訪れたことをきっかけに、臼杵石仏に行ってきました。

梅雨が明けてから毎日晴れていた大分ですが、この週末だけ雨が降ったので、私の両親はやっぱり雨男女であることが確かになりましたが、悪天候にもかかわらず、臼杵石仏の歴史の深さに感動し、国宝である理由が分かりました。逆に、雨のおかげで他の観光客が少なかったため、大分の歴史に精通していたボランティアガイドも付いて来てくれました。

ラッキーなことに、私達はちょうど蓮の時期に行ったので、沢山の素敵な種類の蓮を歩き回ることが出来ました。同じガイドさんに、蓮の開花期間が4日間ということを知ってから、さらにマジカルな感じがしました。



方 応梅
(Fang Yingmei)

先日、家族を連れて、別府にある地獄めぐりに行ってきました。ずっと前から地獄温泉という名前に心を引かれて行きたかったと思います。日がキラキラ光ってとても暑いですが、世界中からの観光客で大変にぎわっています。

海地獄の入り口の所に小さい店があって、とても小さくて箱に入れた饅頭を売っています。一箱は640円で少し高いですが、とても美味しかったですよ。息子が美味しいと言いながら、一人であつという間に食べ切ってしまうと本当に驚きました。共通券を持って、海地獄、鬼石坊主地獄、かまど地獄、鬼山地獄、白池地獄、血池地獄、滝巻地獄という七つの地獄温泉をゆっくり回ることができるのです。それぞれの地獄が独特の美があって、美しい風景を眺めながら、足湯をして、疲れが取れて、気持ちもよくなって、大変リラックスできるようになりました。チャンスがあったら、ぜひ遊びに行ってくださいね。



～編集後記～

ラグビーワールドカップ関連では、オーストラリアやニュージーランドでも県や県ラグビー協会等が訪問してPRを行っています。特に、九州で試合会場となる福岡、熊本、大分の3県ではバリの他香港でもPRを行うなど国内外で各種のPR計画があります。例えば、福岡から来日して、大分、熊本を回って福岡から帰国するなど、ワールドカップ後も九州全体で海外からの観光客客を考える貴重な機会として、今回の経験を活かすことで、誘客の幅の広がりや質の向上を図りたいと考えています。

(国際政策課長 徳野 満)

話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp